



船の思い出

佐藤 和男

三田高校に在職したのは昭和二十六年四月〜三十八年二月。最初の年の遠足は大島で、勝岡橋東詰の月島を二十二時に出て五時に大島に着いた。帰りは大島発十四時三十分、月島着二時だった。乗った船は淡路丸(二二〇〇トン)。この船は藤丸と名を変えて昭和五十三年まで運航された。昭和三十七年の修学旅

行では神戸十三時十分発、高松十七時着むらさき丸(二九九一トン)に乗った。この船は大坂―別府間の観光船で瀬戸内海を昼間十八ノットで航行していた。当時の花形船で、新婚旅行や外国人観光客の利用で常ににぎわい、昭和天皇・皇后陛下も乗船されていたことがある。別府からの上り便が帰着後、神戸―高松間に転用されていた。だが内海航路も次第に夜間航行のフェリーが主体となり、むらさき丸は昭和五十五年引退して整船、のち解体された。姉妹船はくれない丸は引退後売却され、現在は横浜港でレストラン船ロイヤルウイングに姿を変えている。三田での数ある思い出の中で、最初と最後の年

度に生徒諸君と一緒に船に乗ったことを特に印象深く覚えている。「千トン以上の船に乗るのは初めてです。」と言った生徒もいたが、今は五十年代になって、二十万トンを越す船でクルージングを楽しんでいる人もいるのではないかと、ふと思ったりもする。



不思議な縁

戸田 雅子

私が高校に進学したのは昭和三十八年。当時の私は自分で独立して生計をたてながらも勉強したいと思いつた。結局はこの三田高校の屋に進学した。夜学とは校舎も先生も制服も同じ。夜学で働

前会長の五百川氏と二年間も同じ時、同じ校舎で学んだのですね。」と感激し合った。卒業して十三年後、母校の教員として着任。毎日夜遅くまで居残りし、夜の生徒さんや先生方にも迷惑をかけていた。ひよんなことから、書道の講師を頼まれ夜学の教室にも立つこととなった。日中五十人を上まわる生徒を相手に、国語の教師としてがんばってはいたが、聞いてもらえない時間が多かった。ところが、書道を選択した生徒さんは真剣につかない私の授業に取り組んでくれた。高校時代、将来都立高校の書道の先生になりたいと勉強していた頃の私を思い出させてくれた。四年間で首になってしまった。(二月に又来年もが

んぼろう」と別れた生徒を一人失ったのは最大の悔でもある。これがきっかけで平成七年から、本当の三田定の国語の先生として勤めることになった。今は時として失いかける教育のあり方をみつめつつ毎日楽しく生徒と勉強している。

みなながらも勤勉に学問に取り組まれた青葉会員の皆様とは比較にならない暢気な三年間であった。

徒を相手に、国語の教師としてがんばってはいたが、聞いてもらえない時間が多かった。ところが、書道を選択した生徒さんは真剣につかない私の授業に取り組んでくれた。高校時代、将来都立高校の書道の先生になりたいと勉強していた頃の私を思い出させてくれた。四年間で首になってしまった。(二月に又来年もが

会員だより



- 大堀 ケイ 14年卒
何時迄お便りが書けるでしょうか。来年は七十九才です。頑張っています。
- 穴戸 隆子 29年卒
十月二十四日(火)宮川会を開催しました。目黒の東京都庭園美術館・隣の自然教育園を散策し、会場の郵便貯金会館へ。八十三才の先生も一緒され、元気な姿に敬意を表しました。そして美術館、教育園とも「六十五才以上無料」のおまけまで頂きました。
- 横山とみ子 19年卒
ともがきをお送りいただき、ありがとうございます。十九年当時のことを思い出しながら、なつかしく読ませていただきました。これからいつまでも後世に語り継がれるよう祈っております。
- 長尾てる子 23年卒
七十周年御盛会おめでとうございました。本当に久しぶりに楽しゅうございました。ただ母校のなくなるのが非常に寂しゅうございます。つたない句一句「大漁ぞ空二ばいのうるこ雲」
- 網田 キヨ 42年卒
ともかきいつもありがとうございます。四十二年卒は、十月に同期会を開きました。三連休にもかかわらず初参加者が六名もおり、時の経つのも忘れる程の盛況でした。天野教頭先生が書いておられましたように、仲間の一人一人が三田で真剣に勉強し、良き友人関係を築き上げ皆が三田校を愛していた結果なのだと思っております。次回も楽しみます。
- 鈴木 みき 17年卒
会員名簿及び「ともかき」24号本当にありがとうございます。いつもいつもお手数をかけてくださり心より感謝しております。懐かしい青春時代のよき思い出。皆様の御健康を祈っております。
- 平林 美佐子 30年卒
母校の名が平成20年以降、無くなってしまう事は淋しい事です。維持費を気持ちだけ納めさせていただきます。
- 中村 幸子 19年卒
青葉会館林出張所と云われる位、同窓生の方々と交流が多かったこと、戦中戦後永く定時制を勤めたこと楽しく思い返しております。
- 宮田 静子 36年卒
酒樽や拍子木でチャカポコチャカポコ：昨日の様です。もう40年前何回か練習したり、ハッピーと、一生懸命声はり上げたりと、たのしかったなー若かったなー良い思い出をありがとうございます。